

広報



村章

# なまきじん

1997 6 No. 259

毎月1日発行

●今帰仁村の人口  
男4,837人(-8) 女4,793人(-9) 計9,630人(-17)  
世帯数 3,250戸(+5) 平成9年4月末現在

今帰仁御神



「製氷施設・荷捌き施設」  
にさば

新築落成

今帰仁漁業協同組合（古宇利重組合長）の長年の夢であった「製氷施設・荷捌き施設」がこの程運天漁港内に完成し、組合員や関係者多数が出席して落成を祝った。

同漁協では、平成8年度にも組合事務所及び燃油・冷凍施設が完成している。今回この施設が完成したことによって、氷の二十四時間販売（村民も可）が実施され、水産物の共同出荷体制がさらに強化されることになった。

## 今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を



# 学力向上対策委員会総会

## 子ども達に主体性を



▲講演する仲里先生



▲「自らの問題を自ら解決していく能力の育成」をめざして

学力向上対策委員会(委員長大城藤夫)の総会が五月七日(水)午後三時三十分より村コミュニティセンターで村民及び関係者二百人余りが参加して開催された。

総会では、これまでの取組みの成果を踏まえ、「変化の激しい社会が予測される二十一世紀」の社会を生き抜く力を育むために、研究主題を「自らの問題を自ら解決していく能力の育成」をめざした具体的な研究方針や活動計画が提案された。

研究内容としては、「基礎学力の定着」を目標に校内研修の充実、家庭地域教育部会では、「基本的生活習慣の形成」に向

けて家庭における生活日課表の作成、さらに、行政(教育委員会)として「地域リーダーの養成」に力を入れ、教育講演会の開催やPTA会長・子供会育成会会長等の研修会の開催、「子ども達に主体性を育む」ために学校・家庭地域・行政の役割を明確にした具体的な取組みが確認された。

総会後、前沖縄県教育委員会教育長仲里長和先生(沖縄県人材育成財団理事長)による教育講演会(演題「本県教育の現状」)が行われた。

講演の中で先生は、母校北山高等学校時代の恩師に触れ教師としての在り方を特に強調され、誠実と実行その上優れた教材研究からくる指導技術等、当時の教師の一面を語った。

さらに、先生は親として自分の信念を貫く強い親になると同時に子どもから誇れる親になること、そのことそのも

のが家庭として一番大事なことであることを強調されていた。

最後にやんばるで合言葉になっている「人材をもって資源と為す」の名言に触れ、人材育成の必要性を説かれた。

その中で現在の社会情勢から国際化・情報化は波の如く押し寄せてくるものであり避けることはできない。このような波をのりこなす人材が今求められている。

そのためには、特に、学校教育の役割が大きく、これからの社会を学校現場の先生方がどのようにとらえるにかかっている。

そして課題意識をもち、その課題解決のため努力することができる児童生徒の育成が重要であると話された。

このように、これからの社会の変化に対応しうる人間の



育成にあたっては、学校教育が基盤であることを先生自身の体験から述べておられた。

また、学校教育を支えるのが家庭地域の皆さんであり行政(教育委員会)で働く皆さんである。たえず各自の役割のもとで相互に連携を図り、共に頑張っていくことを期待していますと、会場の皆さんを激励した。

講演会は、仲里長和先生が本部町字具志堅出身で北山高等学校卒業ということもあって、会場には先生と同世代の方々も多く、話が高校時代の内容になると、会場も終始和やかな雰囲気になりました。

当時の北山高等学校は大学進学やスポーツ面においても県下で五本の指に入り、今日各階層で活躍する人材を輩出している。

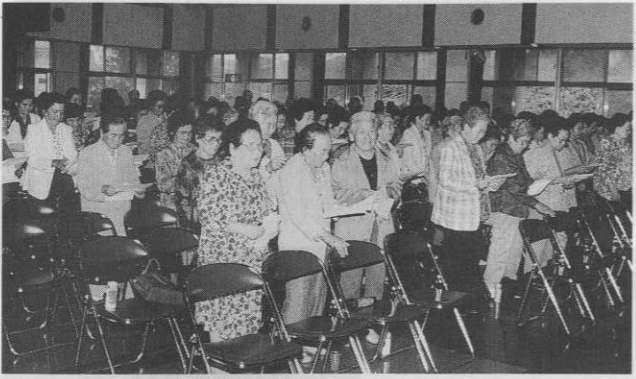
先生はそのことを特に強調され、北山高等学校が全盛期の高等学校に返り咲くことを願う講演を結んだ。

「教育」していくにあたって多くの示唆を与えて下さった先生に対し深く感謝を申し上げ、先生の益々のご活躍を期待します。

# 第26期

## 北山老人大学が開講

### 「老人の生がいくりのため」



▲地域でのリーダーをめざす

年々高齢化の進行が著しい本村の生涯学習の一環、第二十六期北山老人大学開講式が四月二十五日、村コミュニティセンターで村老人クラブのリーダーなど約二百人が参加して開かれた。

開講式で、新城繁雄学級長は「人は年を重ねるだけでは老いない、理想を失ってはじめて老いる。常に何かを求めて頭を働かせる必要がある」とあいさつ。

上間博安村長も「皆様のこれまでの尊い経験と知識を行政にも反映をさせてほしい」と激励のこぼを述べた。

同大学の対象者は、「村内老人クラブの指導的立場に立つ人々や希望者」で、終了後は各地域でリーダーとして活躍する予定。

開講式に引き続き「シマの歴史と文化」の演題で村歴史文化センターの仲原弘哲館長の講演が行われ、受講生は熱心に聴き入っていた。

副学級長がわかりました。

副学級長 大城トヨ  
副学級長 照屋光子

# 一番早い区民運動会

## 区民の親睦を図る



仲宗根

仲宗根区の「第十二回区民運動会」が四月二十七日、午前十時から今帰仁中学校グラウンドで開催された。

運動会は学事奨励会を兼ね子ども達を励ますとともに区民の親睦を図る目的で、郷友会も含め区民五百人が参加して盛大に行われた。

開会式で鳥袋光敏区長は「曇った天気もみんなの力で吹き飛ばし、より一層区民の親睦を深めましょう」とあいさつ。三組の大城博之君(六年)と宮本奈々さん(六年)が力強く選手宣誓した後、競技を開始。保育園児、幼稚園児、小学生のかけっこ、一年生とおじいさん、おばあさんの玉入れ競争、リレーなどバラエティーにとんだ種目に熱戦が繰り広げ



▲おとうさんとのおと時

られ、さわやかな汗を流した。

学事奨励会は昼食時に行われ、関係者が児童生徒を激励した。

促進する起爆剤にしたい」とあいさつした。

この「ダチョウウらんど」はオーストリッチ産業が、足かけ七年かけて開園したもの、「ダチョウウらんど」が快適に暮らせる気象条件に日本でも一番適している沖縄の今帰仁で」を合言葉に実現した。

園内の広さは、約八千二百五十平方メートル、ヒナから成鳥まで約二百羽が飼育されている。

ゴールデンウィークには、村内外から多くの家族連れが詰めかけにぎわった。



# 「ダチョウウらんど」

## 観光の活性化に期待



▲テープカットをする上間村長

全国初のダチョウウのサファリランドが四月二十六日、本村(平敷)にオープンした。

開園式典の席上、上間博安村長は「本村観光の活性化を



▲試球式を行う上間村長(右から3人目)

### 第九回村親善チャリティーゴルフ大会

#### 雨にも負けず 一五四人がハツラツプレイ

今回で第九回を迎える村主催の親善チャリティーゴルフ大会が四月十四日、小雨まじりの嵐山ゴルフ倶楽部(バー72)で開催された。

これは「村民ゴルフファアの連帯意識の高揚と融和により健康で明るい村づくりに寄与する」という趣旨のもと、村が年二回、四月と十一月に行っているもので、大会には悪天候にもかかわらず、これまでの最高記録をぬりかえる二五四人(六七組)のプレーヤー(内那覇五十人程)が参加、チャリティーゴルフの関



心の高さをうかがわせた。午前十一時半、上間博安村長ら三人による試球式が一番ホールで行われ、大会を盛り上げた。

表彰式、懇親会はコミュニティセンターで午後七時から開かれ、ゴルフファア多数が参加し、和気あいあい久しぶりの交流にわいた。

大会には多くの方々から商品等の寄贈があった。なお、収益金六十八万円が村育英会に寄付された。

#### 上位入賞者

	(グロス)	(ハンディ)	(ネット)	
優勝	高山 朝光	84	15.6	68.4
2位	仲宗根勝也	102	32.4	69.6
3位	島袋 勝	87	16.8	70.2
ベストグロス				
男子	喜納 政舟	80		
女子	高良 初江	89		
団体	優勝 呉我山チーム			

## 信頼そして尊敬される 幹部職員をめざして 「村職員研修会」



▲講演に聴き入る村職員

村では「信頼そして尊敬される幹部職員をめざして」のテーマで幹部職員研修会が四月二十四日午前、村コミュニティセンターで開かれ、係長以上の職員五十六人が参加した。

講師は前鹿児島県町村議会事務局長の池田正夫氏。池田氏は「村幹部職員としての生きがいを見出し、部下職員にも生きがいを見い出させることが重要である」と述べ、

地方自治の直面している課題、幹部職員として近年の激しい社会情勢の変化に伴う住民の多様化するニーズにどう取り組むべきか、部下職員との関係においては、いつも部下の意見を聞き建設的に対応しているかなど、さまざまな課題をなげかけた。

また、午後からは村議会議員を対象に「議会の活性化、適正化をめざして」のテーマで講演した。

### マンゴーに続き

#### 「スイカゆうパック」出発式

今帰仁郵便局(親川恵一局長)では五月九日関係者多数が出席して「スイカゆうパック」出発式が行われた。スイカは今帰仁といわれるまでにブランド化され、全国に出荷されている。日本一の熱帯フルーツ生産団地をめざす本村にとっても力強い「スイカゆうパック」の船出となった。

出発式であいさつに立った親川局長は「今年は豊作で味も上々、一千個を目標にしており今後も地域に貢献する郵



便局をめざしたい」と話し、引き続き協力を要請した。生産農家を代表して山城透さんは「五月・六月は今帰仁スイカが一番おいしい時期であり早く産地直送で全国に届けて皆さんに味わってもらいたい」とあいさつ。

その後、箱詰めされたスイカが関係者によって次々とトラックに積み込まれ全国各地をめざして発送された。

問い合わせは村郵便局まで  
電話 五六一二四五七

## 青年部 婦人部 役員かわる



金良道子さん



比嘉 隆さん

村商工会青年部と婦人部の通常総会が、四月二十日と五月七日、それぞれ村商工会館二階ホールで関係者多数が参加して開催された。

青年部は「今 全力で！未来に成果と感動を！」、婦人部は「参加しよう婦人部活動の進展と親睦をめざして」をスローガンに、平成九年度に向けて決意をあらたにした。

両部とも平成八年度事業報告収支決算、平成九年度事業計画などを承認、その後役員改選が行われ、新しい青年部長に比嘉隆さん(諸志)、婦人部長に金良道子さん(仲宗根)が選出された。



▲北山高校サッカーチーム

北部支部高等学校体育連盟主催によるサッカー競技大会が四月二十六・二十七日の両日、北部工業高等学校グラウンドで北部地区から八チームが出場して熱戦を繰り広げた。

チーム創立四年目を迎える北山高校は一回戦から順当に勝ち進み、決勝では名護高校と対戦、北山はさい先よく前半一点を取ったが後半追いつかれ同点のままPK戦に突入、地方に優る北山がPK戦を四対三で制し待望の初優勝を飾った。

與座朝幸監督は「村総合運動公園などのサッカー場を十分活用し、練習できたことが優勝につながった」と感謝。初の快挙に満足していた。

### 北部地区少年野球大会

#### 今帰仁ジュニアが優勝(二連覇)

いこいの村おきなわ杯第二回北部地区少年野球選手権大会の準決勝、決勝が四月二十日、いこいの村球場で行われ今帰仁ジュニアが二連覇を達成した。準決勝で東江少年野球チームを五対一で下した今帰仁ジュニアは、決勝戦で本

○の大差で完勝した。

部東少年野球チームと対戦。相手を含く寄せつけず、十対

決戦での三回裏は、打者一巡の猛攻で一挙六点をもぎとった。まさに今帰仁の闘牛を思わせる爆発力である。山城利和監督は「少年野球の基本は、走ることに叩きつけるバッティング」とこれまでのハードな練習の成果を強調した。

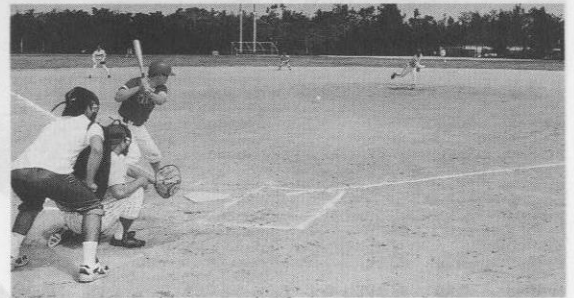


▲優勝メダルうれしそう!

未来のプロ野球選手の卵達よ。	
◎◎◎◎◎	
本都東	00000000
今帰仁	006202x
	100

# 第30回 村野球大会

## 今帰仁クラブ優勝



▲実力伯仲、熱戦につぐ熱戦

村体協（大城勝会長）主催の第三十回村野球大会が四月二十日から五月八日にかけて、村運動公園と村営グラウンドで

十三チームが参加して熱戦が展開された。本大会は一点差四ゲーム、二点差四ゲームもあり各チームとも実力伯仲、注目の決勝戦は今帰仁クラブが序盤のリードを守りぬぎ、二対〇で本今消防を振り切って優勝を飾った。

本今消	0 0 0 0 0 0 0 0
今帰仁	1 1 0 0 0 0 0 0
	2 0

各賞は次のとおりです。  
○殊勲賞―瑞慶山良一（今）  
○敢闘賞―満名康利（消防）  
○打撃賞  
一位―真栄田隆之（今）  
二位―上原 康也（今）

### 大空にはばたけ

こいのぼり掲揚式

コ五十名が招待された。園児らはこいのぼりの歌を歌いながら、ボールにゆつくりとこいのぼりを揚げた。こいのぼりが澄みきった青空の下、こちよいい風を受け元氣よく泳ぎ出すと、園児たちの歓声がひびいた。

その後チビッコたちにはプレゼントとして、デイサービスのおじいちゃん、おばあちゃんからお菓子が配られ楽しい一時を過ごした。



四月二十八日、村コミュニティセンターで村社会福祉協議会（島袋政春会長）主催による「こいのぼり掲揚式」（写真）が行われ、今年も中央、仲尾次両保育所の年長チビッコ

## やんばる駅伝伊平屋島大会・六位と健闘

第七回やんばる駅伝競走伊平屋島大会が五月十日午後、伊平屋村友愛と健康の広場（発着）で開催された。大会には今帰仁村チームをはじめ、十五チームが参加、健脚を競った。

こしはばらく優勝から遠ざかっている本村は、駅伝王国の復活をめざし、各選手とも力走、目標の五位以内には届かなかったが、前年度の九位から六位に躍進した。優勝は本部で三連覇を果たした。



▲お疲れ様、後は頼みます！

## 海水浴のシーズン

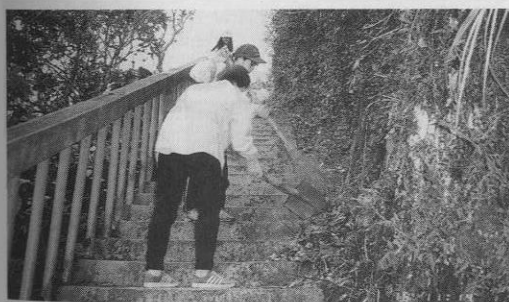
### 環境美化はみんなの手で

今帰仁村青年会（上間宏明会長）は、「地球の環境美化」の目的で、ゴールデンウィークを前にこの程、渡喜仁ヒージャー周辺に美化作業を行った。

当日は、あいにくの小雨模様にもかかわらず多くの団員が集まり、チェンソー、カマ、ノコギリを手に各班に別れ

ダンや雑木の取り払い、空き缶拾いやゴミ収集等に励んだ。

地球規模で自然をみつめる考えが広まりつつある中、みんなで自然を大切にしたいという願いを込め、最後に手作りのビーチ案内板と立看板を設置した。



▲ヒージャーを清掃する青年会

## 伊集一隆さん 受賞おめでとう

### 行政相談委員で表彰

伊集一隆さん（平敷二二）が行政相談委員を長年務めた功績により、国務大臣総務庁長官表彰を受けました。



▲国務大臣総務庁長官表彰式

これは行政相談委員として行政相談制度の発展に寄与したことが高く評価され、今回の受賞となりました。

## 行政相談委員と人権擁護委員かわる



行政相談委員の 新垣 侃さん

これまで長年村の行政相談にあたってきた伊集一隆さんにかわって、五月一日より新垣侃さん（玉城四三）が新しく行政相談委員に委嘱されました。伊集さん、大変ご苦労様でした。

なお、相談窓口は村コミュニティセンターで開設しています。どんな相談でも秘密を



人権擁護委員の 三輪茂穂さん

守りますので、お気軽にお寄せ下さい。

行政相談委員 新垣 侃  
住所 玉城四三  
電話 五六―三一四八

比嘉盛一さん、村上仁賢さんにかわって四月十五日付けで三輪茂穂さん（仲宗根三〇）が新しく人権擁護委員に委嘱されました。比嘉さん、村上さん大変お疲れ様でした。

また従来の委員、島袋輝志雄さん、諸喜田スエ子さんは引き続き委嘱されました。

○左記の日時で特別人権相談所が開設されますのでご利用下さい。

○日時 平成九年六月十三日（金） 午前十時～午後三時

○場所 村コミュニティセンター

## 諸志地区（今泊）水道整備を推進

### 国民年金還元融資金を活用

村では、これまで村内五地区の水道施設整備事業を実施しているが、平成八年度は次の事業を実施した。

事業実施箇所は今泊地内で配水管工一式（延長1161.98m）、中継ポンプ施設一式排水池（タンク）一式。

総事業費は二億四千二百六十七万円で、費用内訳は国庫補助金一億六千七百七十八万



▲諸志地区簡易水道施設整備工事

## 平成9年度狂犬病予防注射

※飼い主が負担する料金	
狂犬病予防注射済票交付手数料	530円
狂犬病予防注射手数料	2,270円
合計	2,800円

※まだ登録を済ませていない方は、登録手数料が必要です。  
犬の登録手数料 3,000円（生涯1回）

※鑑札をなくした方は、鑑札の再交付手続きが必要です。  
鑑札の再交付手数料 1,600円

### モレ犬

接種月日	実施時間	実施場所
6月6日(金)	9:00~9:30	与那嶺公民館
//	9:40~10:20	仲宗根公民館
//	10:30~11:00	天底公民館

# 幼児ことばの教室

## 《月間プログラム》

★教育相談(ことばの相談)  
毎月第1火曜日 PM1:30~

★いきいきタイム  
(子育てについての懇談の場、誰でも参加可)

毎月第3火曜日 PM2:00~

★子育て相談……随時



ことばの教室では、遊びを通して、子どもの成長・発達・発音改善を促していきます。ことば・発音・話し方・視線が合わない・動きが激しいなど、お子さんの事でお悩みのお母さん、お気軽にご相談ください。

場 所：村コミュニティセンター(機能回復室)

連絡先：今帰仁村社会福祉協議会

幼児ことばの教室

☎56-4742

# 児童手当とは

家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として支給される手当です。



## 6月は児童手当 現況届の提出期限です

### 児童手当(特例給付)を受けている皆さん

児童手当現況届は、毎年1回すべての受給者自身が出す届です。この届は受給者の前年度の所得の状況と6月1日現在の養育の状況などを毎年1回確認するための届です。もしこの届を出さないと引き続いて受給資格があっても、6月以降の手当の支払いを受けることができなくなりますので必ず提出して下さい。

なお届は下記の日程で村役場福祉課で受け付けますので、加入年金手帳・印鑑をご持参下さい。

日 時	午前9時~午後4時まで
6月12日(木)	今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次、崎山、平敷、越地、謝名、仲宗根
6月13日(金)	玉城、呉我山、湧川、天底、勢理客、渡喜仁、上運天、運天、古宇利

## 児童手当を受給できる人

3歳未満の児童を養育している方で、前年(1月から5月までの月分については前々年)の収入が一定の額未満の場合に受けられます。

詳しいことは村役場福祉課児童福祉係へお問い合わせ下さい。 ☎56-2101 (内線40)

## 児童手当の額

児童手当は、第1子及び第2子は月額5,000円、第3子以降は1人につき月額10,000円となります。

なお、手当は毎年2月、6月、10月に、それぞれの前月分までが支給されます。

# 古宇利島の神アサギ付近



▲古宇利の神アサギ付近(1960~62年)



▲古宇利の神アサギ付近(「神と村」仲松弥秀著より)

一九六〇年から六二年にかけてジョージ・H・カー氏が「琉球列島遺跡調査」を行う

た際レイモンド佐藤氏によって撮影された写真が「沖縄・奄美の風物」として「沖縄出

土の中国陶磁(沖縄県立博物館)に収められている。その中に今帰仁村の渡喜仁から

アサギ付近の写真を紹介しよう。上の写真はナカムイ(御

古墓など五枚の写真がある。その中の一枚、古宇利の神アサギ付近の写真を紹介しよう。上の写真はナカムイ(御

上運天にかけての水田、仲尾次から与那嶺にかけての風景、そして古宇利島の神アサギ付近、運天の大北墓、さらにチニブや木で閉じられた無名の古墓など五枚の写真がある。その中の一枚、古宇利の神アサギ付近の写真を紹介しよう。上の写真はナカムイ(御嶽)から神アサギの方に向けて撮影した様子である。まさに御嶽・神アサギ・集落へとつながる祭祀を中心としたムラの構造を写しだしている。海神祭(ウンジャミ)やタキヌウガンの時など、神人たちが低い茅葺き屋根のアサギの中で祭祀を行う。旧盆後の最初の亥の日には、この神アサギと庭から海神祭(ウンジャミ)が始まる。その日は子供たちが神アサギで遊んでいる姿がある。手前左側には豊年祭の舞台となるコンクリートの一部が見える。アサギ庭は草が伸び、隣接する民家とのブロックの境がなく解放的に映る。中央部の瓦屋根の家は現在西の売店で、建築されて間もない頃である。古宇利では、まだまだ茅葺き屋根の家が目立つ頃である。開放された家に洗濯物が干され水の乏しい島を象徴するかのようである。本島から島に水道が引かれたのは一九七七年である。もう一枚は、同じ頃、西売店の方向から神アサギ・ナカムイ(御嶽)に向かっての場面である。 (歴史文化センター) 仲原 弘哲

### 歴史文化センター展示会 運天の歴史

—トンネルを抜けると歴史がひらける—

今帰仁村歴史文化センターでは6月25日(水)より展示会「運天の歴史」—トンネルを抜けると歴史がひらける—を開催します。今から約500年前にはすでに重要な港として知られていた運天港。為朝渡来伝説が伝えられ、日本を開国に導いたペリーなどが訪れました。付近には歴史ある古い墓や、大正の初めまでは番所(役場)がありました。かつて琉球国の外との窓口であった運天港の歴史の謎にせまります。

- 日時 6月25日(水)～7月15日(火)9時～17時
- 場所 今帰仁村歴史文化センター講堂(城跡近く)
- 月曜日休館

### 参加者募集 運天に行く

運天が描く沖縄の歴史の「もう一つの顔」。為朝伝説のガマ・百按司墓・大北墓・番所跡地などを手がかりに「沖縄の歴史」をたどります。

- 日時 7月5日(土)
- 時間 午前9時～12時
- 募集人員 (25名)
- 参加費 無料
- 締切 7月1日(火)
- 申込先 今帰仁村歴史文化センター(城跡近く) ☎56-5767まで

### 平成9年度 中央公民館講座

講座名	趣旨	対象	定員	回数	期間	時間
単 パソコン講座	パーソナルコンピューター操作の初歩から応用までの学習をし、情報化社会に役立てる。	村民	20	10	平成9年 7月1日～ 7月31日 (火)木週2回	午後7時～ 午後9時
水墨画講座	水墨で絵を描く基礎的技術を学び日頃から水墨画に親しむようになる。	村民	20	10	平成9年7月 2日～ 9月3日 (水)週1回	午後7時30分～ 午後9時30分
健康講座 (ウォーキング)	「歩く」ことは身近な健康維持法である。正しい歩き方の指導をうけ心身ともにリフレッシュする。	村民	30	3	平成9年 11月17日(月) 11月18日(火) 11月19日(水)	午後7時～ 午後8時30分
水彩画講座	初心者を対象に水彩画の基本を学習する機会を与え創造的な表現制作の喜びを味わえる。	村民	20	10	平成9年 8月7日(木) ～10月9日(木) 週1回	午後7時30分～ 午後9時
おし花講座	いろいろな花や植物をおし花にする技法を習得し日常生活に役立てる。	村民	20	3	平成9年 10月1日(水) 10月8日(水) 10月15日(水)	午後8時～ 午後10時
親子講座 (夏休み絵画教室)	絵画をとおして親子のふれあいを深める。	小・中学生とその家族	20 家族	1	平成9年8月 10日(日)	午後1時～ 午後5時
親子講座 (熱気球製作)	チリ袋を利用し製作する。親子のふれあい参加。家族の親睦を深める。	小学生とその家族	20 家族	1	平成9年8月 3日(日)	午後1時～ 午後5時

## 村民の皆様へ

### お昼休みの窓口業務のご案内について

1. 住民票の発行
2. 印鑑証明の発行

(印鑑登録のカード発行は除く)

上記以外の証明については午後1時からお願いいたします。



平成9年5月1日  
今帰仁村長 上 間 博 安

### ご寄付



■村社会福祉協議会へ  
○ベルモア東洋ベルライオン(運天一〇六九)より窓口募金として一万二千九百二十二円。  
※ご芳志ありがとうございます。

## ◇ ごみの正しい出し方 ◇

今帰仁村では、平成5年4月から、ごみ袋が指定され、「燃えるごみ」と「燃えないごみ」に分別して回収しています。指定袋以外(黒いビニール袋、肥料袋等)の搬出は、収集しませんので、ぜひ指定袋に入れて処理して下さい。

また、正しい分別がされていないと、焼却炉をきずつけ、こわす原因にもなります。正しい分別をし、自分で出したごみは、自分で責任を持つようにしましょう。

詳しい事は、各家庭に配布してあります!!ごみの正しい出し方!!をごらん下さい。

### 燃えるごみ

- 台所(残飯・野菜くず)  
水切りを十分にして、紙に包んでごみ袋に入れて下さい。
- 紙くず  
古紙・雑誌・新聞紙等又はダンボール類はつぶして、束ねて、ひもでくくって出して下さい。
- 木ぎれ・板ぎれ・竹ぎれ  
50センチほどに切って、束ねて出して下さい。
- その他  
木・草などは枯してから出しましょう。

### 燃えないごみ

- 空きカン・空きビン・陶磁器・ガラス
- 小型家庭電気器・金属類  
アイロン・ナベ・ヤカン・ポット・傘類・工モンカケ・電線類等
- 金属スプレー  
爆発のおそれがありますので、穴をあけて出して下さい。
- ポリ容器・プラスチック製品具
- その他  
ビニール、ラップ、プラスチック、トレー、発砲スチロール等

これらのごみは、焼却炉をきずつけ、こわす原因になりますので「燃えるごみ」に入れないで下さい。

### 大きなごみ

- 家具類  
机、椅子、タンス、ベッド、雨戸、障子、テーブル
- 寝具類  
ふとん、タタミ、じゅうたん
- 厨房設備  
流し台、石油コンロ、ガスコンロ、ストーブ等
- その他  
テレビ・洗濯機・冷蔵庫・ステレオ・トタン・自転車・乳母車などの大型ごみ

※この種の大型ごみで燃えるものは、本部町・今帰仁村清掃施設組合へ、燃えないごみは乙羽山の不燃物捨て場へ各自で運んで下さい。

### 自分で処理するごみ

- 一時多量に出るごみ  
転宅、大規模の日曜大工ごみ  
新築、改築の際出る廃材及び大木等
- 業者請負ごみ  
改築、模様替え、タタミの入れかえ、建築廃材、がれき、残土
- 事務所ごみ  
工場、ホテル、スーパー、商店の大量ごみ、中古タイヤ

これらのごみは、自分の責任で処理すべきものです。

# 6月/水無月

1997年



1 日	○幼児ことばの教室(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00 コミセン) ○デイサービス(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00 コミセン) ○村ソフトボール大会(運動公園)
2 月	○DPT予防接種(12:30~ コミセン)
3 火	○今帰仁郷友会チャリティーゴルフ大会(那覇カントリー)
4 水	○心配ごと相談(13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン)
5 木	○区長会(14:00~ 2階会議室)
6 金	○狂犬病予防接種(9:00~9:30 与那嶺公民館) (9:40~10:20 仲宗根々々) (10:30~11:00 天底々々)
7 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン) ○少年の主張大会(14:00~16:00 コミセン)
8 日	○海神祭ハーリー(11:00~ 運天漁港)
9 月	
10 火	○1才半、3才児健診(13:00~ コミセン)
11 水	○心配ごと相談(13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン)
12 木	
13 金	
14 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
15 日	
16 月	○牛セリ(セリ市場) ○日本脳炎予防接種(3才)(12:30~ コミセン)
17 火	○いきいきタイム(ことばの教室)(14:00~)
18 水	○心配ごと相談(13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン)
19 木	○歯科相談(13:00~ コミセン)
20 金	○区長会(14:00~ 2階会議室) ○老人クラブ大会

21 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
22 日	○壮年ソフトボール大会(運動公園)
23 月	慰霊の日
24 火	○長距離月例会(18:20~ 運動公園)
25 水	○心配ごと相談(13:00~17:00 コミセン) 展示会 7月15日まで 歴史文化センター ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン) ○「朝読み・夕読み」表彰式
26 木	○デイケア
27 金	○日本脳炎予防接種(3才)(12:30~ コミセン)
28 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン) ○少年少女ミニバスケット大会(村民体育館)
29 日	○村PTAバレーボール大会
30 月	

## 7月

1 火	
2 水	○心配ごと相談(13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン)
3 木	
4 金	
5 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン) ○乳児健診 ○国頭郡野球大会(6日まで)
6 日	
7 月	
8 火	○親子水泳教室(11日まで 村営プール)
9 水	○心配ごと相談(13:00~17:00 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン) ○日本脳炎予防接種(3才)

ヒナの旅立ちを楽しみ

■我が家の車庫に数年前からツバメが住みついている。彼らは丹念に土をこねて、コンクリートの壁にマイホームを完成させた。まさに鳥の建築家である。

■その間、何世代のツバメが巣立っただろうか。つい先日卵からヒナがかえったばかりだ。ツバメのヒナは絶対に巣の中では糞をしない。トイレ代わりに外に排出する。だから巣の中にはいつも清潔。まったく人の気も知らないで...と言いたくなるほど車庫の中は糞だらけである。人間の子もそうであれば助かるのだが...

■しかし、私の悩みはそれだけではない。巣を出入りする親ツバメが私の愛車に糞をひっかけていくのだ。それが洗車してもなかなか取れない。頭にくる...でも

